



TEEN

日中韓環境教育ネットワーク

これまでのあゆみ

2024年版

Tripartite
Environmental
Education
Network

Japan, China, and Korea

も く じ

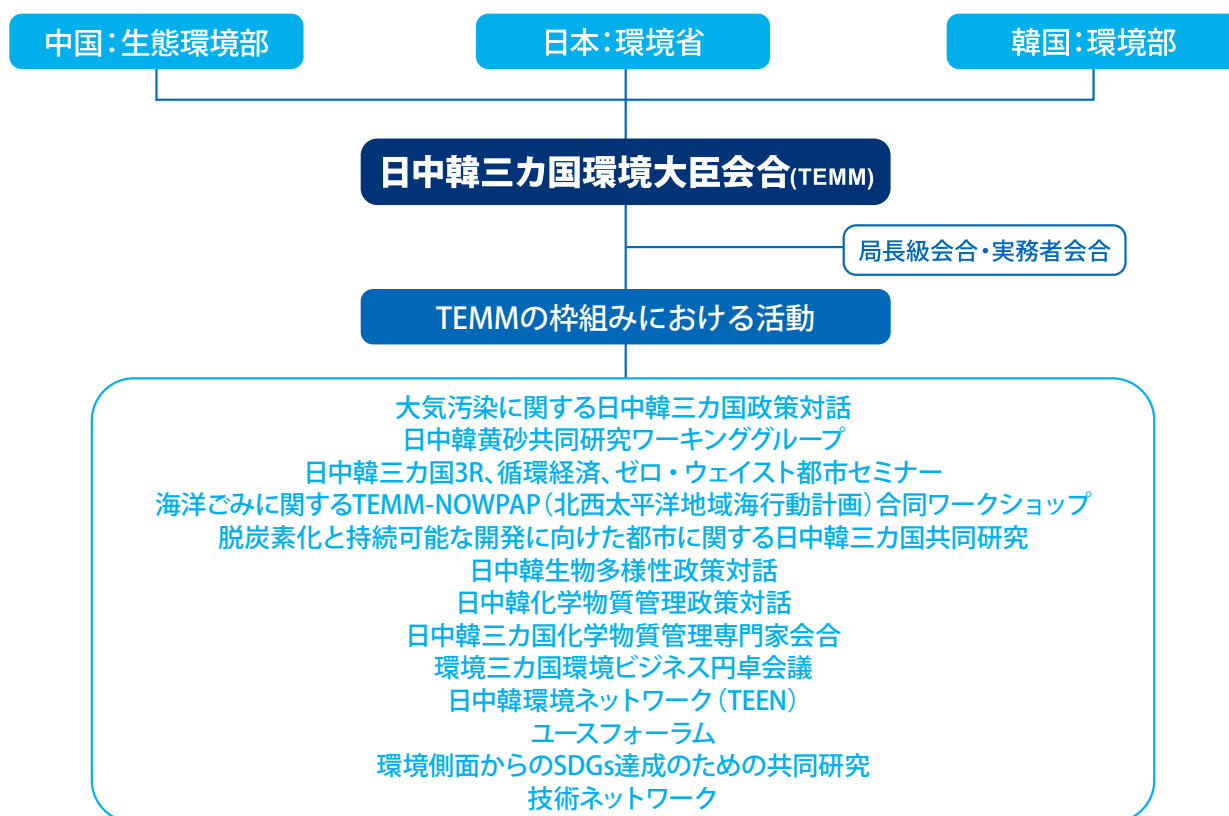
1. 日中韓環境教育ネットワーク(TEEN)とは	TEEN / Tripartite Environmental Education Network	3
2. TEENカレンダーでみるこれまでのあゆみ		4・6
3. TEENこれまでの主な成果		5・7
4. これまでのTEEN開催概要(TEMMの開催概要含む)		8
第1回TEEN	記念すべき初回のTEENは日本開催	9
第2回TEEN	三カ国のネットワーク強化へ向けたデータベースの確立	
第3回TEEN	三カ国の地域または河川を舞台とした環境教育の現状に関する取り組み	10
第4回TEEN	国連の「持続可能な開発のための教育の10年(DESDE)」を踏まえた今後の環境教育の課題	
第5回TEEN	子どものための環境教育教材作成	11
第6回TEEN	子どものための環境教育教材試行結果報告と企業の環境教育に対する取り組み	
第7回TEEN	日中韓三カ国の沿岸地域における環境教育の事例	12
第8回TEEN	三カ国による都市の大気汚染改善のための取り組み	
第9回TEEN	高等教育における青少年環境教育リーダー育成の取り組み	13
第10回TEEN	産学官民連携と高等教育におけるリーダー育成の取り組み	
第11回TEEN	環境と開発、生物多様性保全に関する取り組み	14
第12回TEEN	環境リーダー育成に向けたグリーン成長型環境教育の促進	
第13回TEEN	持続可能な開発のための教育(ESD)に関する最新の取り組み	15
第14回TEEN	高等教育における環境教育及び持続可能な開発のための教育(ESD)の新たな試みと展望	
第15回TEEN	日中韓の持続可能な環境教育の協働に向けた今後の取り組み	16
第16回TEEN	世界と地域を結ぶ(グローバルの視点で)～岡山市におけるポストDESDE～	
第17回TEEN	環境教育及びESDの公的支援の強化	17
第18回TEEN	生物・文化多様性と地域に根ざした環境教育	
第19回TEEN	多様な主体による持続可能な地域づくり～SDGsの達成に向けて～	18
第20回TEEN	TEEN20年のあゆみ：成果と振り返り	
第21回TEEN	地域における環境教育：日本、中国、韓国の経験の共有	19
第22回TEEN	2050年に向けた私たちの選択～脱炭素社会の実現のために～	
第23回TEEN	自然に根ざした環境教育のイノベーション～繋がりが融合し、そして創造する～	20
第24回TEEN	気候変動の緩和と適応を目指した環境教育～「参画」に焦点を当てて～	
第25回TEEN	過去から現在、未来をつなぐ～脱炭素社会実現へのロードマップ～	21

1. 日中韓環境教育ネットワークとは

(英文表記: TEEN / Tripartite Environmental Education Network)

背景・経緯

2000年2月、北京で開催された第2回日中韓三カ国環境大臣会合（以下、TEMM: Tripartite Environment Ministers Meeting）において、「環境共同体意識の向上」を図るための三カ国協力プロジェクトを形成、推進していくことが決定されました。これを受け、特に市民レベルの環境共同体意識の向上を具体化するプロジェクトとして、2000年6月三カ国事務レベル会議（韓国済州島）で「環境教育ネットワーク」の設立が合意され、11月に始動を開始したのが、日中韓環境教育ネットワーク（以下、TEEN）です。



出典: 環境省ウェブサイトより転載 <http://www.env.go.jp/earth/coop/temm/aboutus/organization.html>

活動の目的

本活動は、日中韓三カ国から環境教育の専門家等を集め、環境教育に関する情報交換を通じて、日中韓の環境教育ネットワークを推進し、ひいては三カ国における社会の環境認識を向上し、持続可能な社会の構築に資することを目的としています。

TEEN では、毎年、三カ国交替制によるワークショップ、シンポジウムおよびフォーカルポイント会議（年1回以上）を開催し、環境教育の専門家や教育者、NGO 代表等が三カ国から集まり、環境教育のイニシアティブについて議論や意見交換等を行っています。

TEENカレンダーでみるこれまでのあゆみ

TEENの動き

年	開催国・場所	シンポジウムテーマ	ワークショップ概要
1999			
2000	日本 静岡県富士宮市 東京都	人と自然との共生、 自然学校の事例	三カ国の環境教育の現状共有、 ネットワーク構築へ向けた活動計画の立案
2001	中国 北京	日中韓三カ国における 環境教育の現状	環境教育の政策、 学校教育・パートナーシップ活動の事例
2002	韓国 ソウル	地域レベルにおける 環境教育の現状	三カ国の地域または河川を 舞台とした環境教育の現状
2003	日本 静岡県静岡市	地域の環境保全と環境教育 (日中韓の経験から)	DESDを踏まえた今後の環境教育の課題、 エコツーリズムと環境教育
2004	中国 天津	青少年の環境教育と実践	三カ国における子どものための 環境教育に関する施策と実践例
2005	韓国 ソウル	DESDおよびリサイクル 社会のための学校の役割	三カ国が開発した教材の授業試行結果の報告、 産業界における環境教育
2006	日本 石川県金沢市	日中韓の沿岸地域における 「海」に関わる環境教育事例	若年層が参加する環境教育の事例、 環境教育を軸とした地域づくり
2007	中国 北京	都市における大気環境 改善のための環境教育	都市部の大気汚染に関する環境教育、 日中韓の環境教育のネットワーク化
2008	韓国 ソウル	高等教育の青少年 環境教育リーダーシップ	三カ国におけるTEENの方向性、 環境教育交流の活性化に向けて
2009	日本 愛知県名古屋	産学官民連携と高等教育の 環境リーダー育成	高等教育機関における環境リーダ 育成の推進に向けた地域協力
2010	中国 北京	(シンポジウムは未実施)	生物多様性を中心とする教育プログラム、 今後のTEENの方向性
2011	韓国 慶州	環境教育の将来 —「実践」に向けて	環境リーダー育成、日中韓学生フォーラム、 TEENの評価と方向性
2012	日本 宮城県仙台市	ESD最新動向	日中韓の子ども向け環境教育読本の作成に向けた 方向性の検討
2013	中国 北京	高等教育の環境教育 ESDの新たな試みと展望	日中韓の子ども向け環境教育読本の作成に関する検討
2014	韓国 済州島	今後の三カ国による持続可能な 環境教育の協働に向けた取組み	日中韓の子ども向け環境教育読本の 作成に関する最終確認
2015	日本 岡山県岡山市 香川県直島町	点から線、線から面への環境教育の 広がりをつながりづくり	日本における環境教育及びESDに関する先進的事例の視察 韓国側が作成した子ども向け環境教育読本の活用
2016	中国 深セン	日中韓三カ国における環境教育支援の 促進に関する政策 地域における環境教育/ESDプログラムの効果	中国における自然学校(ビジターセンター)の視察 韓国側が作成した子ども向け環境教育読本の活用
2017	韓国 水原	生物 — 文化多様性と地域に 根ざした環境教育	京畿道環境教育フェスティバルへの出展 日本側教員による韓国の小学校での環境教育研究授業

日中韓環境教育
ユースキャンプ学生参加

日中韓学生
サミット学生参加

日中韓学生
フォーラム学生参加

TEMMの動き

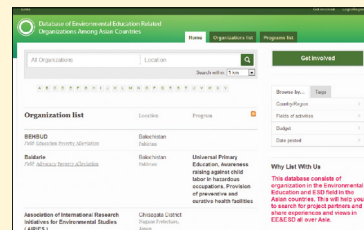
開催国・場所	全体概要
韓国 ソウル	北東アジアの環境問題に対する優先協力分野の決定
中国 北京	優先協力分野への具体的なプロジェクトの決定
日本 東京	京都議定書早期発効、酸性雨モニタリングネットワークの重要性を確認
韓国 ソウル	黄砂問題等、北東アジア地域の地域的な問題に関する議論
中国 北京	経済開発と環境保護の両立を図る取組みの重要性を確認
日本 東京	循環型社会構築のための情報交換および政策対話の開始
韓国 チェジュ島 済州島	海洋や沿岸環境保全のための共同取組み等が同意
中国 北京	黄砂による影響や、漂着ゴミ対策の必要性の認識を共有
日本 富山	黄砂などの共同研究開始、東アジアサミットへの連携合意
韓国 チェジュ島 済州島	10年の取組みをレビューし、協力の拡充について合意
中国 北京	10年の取組みを踏まえ、5年間の10大優先分野が決定
日本 北海道	三大臣による環境協力の三カ国共同行動計画の承認
韓国 プサン 釜山	行動計画の進捗確認、学生&産業フォーラムの開催
中国 北京	国内環境政策の共有、行動計画の進捗確認 学生&産業フォーラムの開催
日本 北九州	国内環境政策の共有 ユースフォーラム&産業フォーラムの開催
韓国 テグ 大邱	大気環境改善を優先分野の1つにすることの決定 ユースフォーラム&ビジネスフォーラムの開催
中国 上海	三カ国共同行動計画、共同コミュニケの採択 ユースフォーラム&日中韓環境ビジネス円卓会議の開催
日本 静岡	国内環境政策の共有、行動計画の進捗確認 ユースフォーラム&日中韓環境ビジネス円卓会議の開催
韓国 水原	国内環境政策の共有、行動計画の進捗確認 ユースフォーラム&日中韓環境ビジネス円卓会議の開催

TEENこれまでの主な成果

第1期 2000～2002年

●環境教育団体のデータベース構築

- ・2001年1月～2002年1月間に「日中韓環境教育データベース作成ミーティング」を3回開催し、作成。



●日中韓における環境教育の現状把握

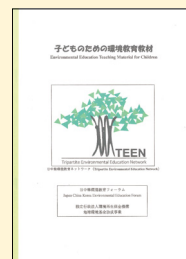
- ・三カ国環境教育専門家ネットワークの強化
- ・環境教育活動の経験と情報の共有

第2期 2003～2005年

●環境教育団体のデータベース更新

●学校教育を受ける学生向けの教材作成

- ・2005～2006年度「子どものための環境教育教材」
- ・日本「ツルを守るための条約づくり、湿地、森林」
- ・中国「製品ライフサイクル、大気汚染」
- ・韓国「川とわたしたちの暮らし、伝統的な環境の英知」



第3期 2006～2009年

●青年リーダーの育成・交流促進

- ・2008年度～2011年度の4年間、TEENにおいて各国数名の学生を派遣し、プレゼンテーションやワークショップ等による交流を行っています。

●学校環境教育の推進と、教育を通じた交流

●各国の関心に応じたテーマでの講義実施

第4期 2010～2015年

●三カ国共同による 小学校児童用教材

●各国の関心に応じた テーマでの講義実施



TEENカレンダーでみるこれまでのあゆみ

TEENの動き

年	開催国・場所	シンポジウムテーマ	ワークショップ概要
2018	日本 福岡県北九州市	多様な主体による持続可能な地域づくり ～SDGsの達成に向けて～	北九州市環境ミュージアム、北九州まなびと ESDステーションの視察 ファシリテーション・ガイドブックを使用したワークショップの実施
2019	中国 杭州市	TEEN20年のあゆみ：成果と振り返り	日本及び韓国の環境教育専門家による事例報告と 日中韓環境教育関係者とのディスカッション 実験小学校の視察
2020	韓国 (オンライン)	地域における環境教育： 日本、中国、韓国の経験の共有	ポストコロナ時代の環境教育：コミュニティマッピング 自治体と連携した環境教育の事例共有
2021	日本 (オンライン)	2050年に向けた私たちの選択 ～脱炭素社会の実現のために～	ファシリテーション・ガイドブックを活用した模擬授業の実施
2022	中国 (オンライン)	自然に根ざした環境教育のイノベーション ～繋がり、融合し、そして創造する～	自然に根ざした環境教育の事例共有及び 環境教育実践者によるディスカッション
2023	韓国 済州島	気候変動の緩和と適応を目指した環境教育 ～「参画」に焦点を当てて～	ヒョンドン中学校の視察及び環境教育研究授業 トンベクドンサン湿地センターの視察
2024	日本 京都府	過去から現在、未来をつなぐ ～脱炭素社会実現へのロードマップ～	桂離宮の視察 企業の環境に関する取組の視察及び意見交換

TEMMの動き

開催国・場所 全体概要

中国 蘇州	過去20年における三カ国の環境協力の振り返り ユースフォーラム&日中韓環境ビジネス円卓会議の開催
日本 北九州	国内環境政策の共有、行動計画の進捗確認 ユースフォーラム&日中韓環境ビジネス円卓会議の開催
	(COVID-19の影響により開催延期)
韓国 (オンライン)	三カ国共同行動計画、共同コミュニケの採択 ユースフォーラムの開催
中国 (オンライン)	三カ国共同行動計画の進捗確認、共同コミュニケの採択 ユースフォーラム&日中韓環境ビジネス円卓会議の開催
日本 愛知県 名古屋市	三カ国共同行動計画の進捗確認、共同コミュニケの採択、 ユースフォーラムの開催
韓国 済州島	各国の環境政策についての意見交換、 共同コミュニケの採択、ユースフォーラムの開催

第5期 2015～2020年

- 日本：環境教育指導者向けの
ファシリテーション・ガイドブック開発
- 中国：三カ国の環境教育の
振り返りと取りまとめの冊子の作成
- 韓国：TEENウェブサイトの開発と
運用 (<http://teen-temm.net>)



4. これまでのTEEN開催概要

ここではTEENのこれまでのシンポジウムおよびワークショップの活動概要を中心に整理を行いました。また、TEENは、TEMUと連動しているため、年度毎におけるTEMU全体の動き及びTEMUユースフォーラムの内容も紹介しています。



第25回日中韓環境教育ネットワークシンポジウム及びワークショップの様子

第1回 TEEN

記念すべき初回のTEENは日本開催

TEENの開催日程&場所

2000年11月30日(木)～12月1日(金)：日本・静岡県富士宮市 12月2日(土)：日本・東京

〈TEENの開催概要〉

第1回目のワークショップは、2000年11月30日12月1日に静岡県富士宮市にて、また、シンポジウムが12月2日に東京にて、TEENの組織化を目指し開催されました。三カ国から環境教育の専門家や教育者、NGO代表ら約30名が集まり、各国の環境教育の取組と実際の活動に関する意見交換や経験を紹介しました。

また、取組の第一歩として、三カ国の環境教育に携わる代表的な機関に関する共通のデータベースの開発と構築を決定しました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 人と自然との共生
- 自然学校の事例

〈ワークショップ概要〉

- 三カ国の環境教育の現状共有とネットワーク構築へ向けた活動計画の立案

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

※ シンポジウムのみ協力：イオングループ環境財団

〈TEMM全体の動き〉

第1回目のTEMMは、1999年1月に韓国ソウルにて開催されました。本会合で、アジア地域および地球規模の環境問題に関する協力関係を強化し、特に、北東アジア地域における環境の悪化に対する優先分野が決定されました。これを受けて、2000年2月に中国北京で開催された第2回目のTEMMでは優先協力分野に関して、以下の具体的なプロジェクト（TEMMプロジェクト）の実施が決定されました。①環境共同体意識の向上、②淡水（湖沼）の汚染防止、③陸上起因の海洋汚染防止、④環境産業分野、⑤中国北西部の生態系修復
また、TEMMの主要プロジェクトとして、「TEMM公式ウェブサイト」の開設と「第1回TEEN」の開催が行われました。

第2回 TEEN

三カ国のネットワーク強化へ向けた データベースの確立

TEENの開催日程&場所

2001年10月29日(月)～10月31日(水)：中国・北京

〈TEENの開催概要〉

三カ国間の環境教育の連携を確立するための取組みが紹介され、各国のデータベースを充実させる方法が話し合われました。

また、TEENのロゴを決定したことに加え、北京の高校生約300人が参加した合同シンポジウムも開催されました。参加した生徒たちは環境教育をテーマにした劇を披露しました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 日中韓三カ国における環境教育の現状

〈ワークショップ概要〉

- 環境教育の政策
- 学校教育・パートナーシップ活動の事例

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

2001年4月、東京で開催された第3回目のTEMMでは、気候変動問題の深刻な状況に対して、国内努力・国際協力の強化、特に京都議定書の早期発効に向けた努力の必要性を確認しました。また、大気汚染問題について、酸性雨は三カ国に共通の問題であり、東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）の重要性を再認識しました。

第3回 TEEN

三カ国の地域または河川を舞台とした 環境教育の現状に関する取組み

TEENの開催日程&場所

2002年9月24日(火)～9月27日(金)：韓国・ソウル

〈TEENの開催概要〉

三カ国の地域または河川を舞台とした環境教育の現状について発表・意見交換が行われました。また、各担当機関と他の参加者間で今後のTEENの方向性について討議が行われました。

2003年12月に北京で開催された第5回目のTEMMにおいて、子どものための環境教育共同プログラムの具体的な検討を始めることが合意されました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 三カ国の地域レベルにおける環境教育の現状

〈ワークショップ概要〉

- 三カ国の地域または河川を舞台とした環境教育の現状

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

2002年4月、韓国のソウルで行われた第4回目のTEMMでは、気候変動問題、黄砂問題や中国北西部の生態系修復など、北東アジア地域の地域的な問題について議論が行われました。そして、ヨハネスブルグサミットに向けて、日中韓三カ国でアジアの意見が十分反映されるように取組んでいくことで意見が一致しました。また、黄砂問題についてはセミナーや研修、調査研究などを通じ貢献していくことが確認されました。

第4回 TEEN

国連の「持続可能な開発のための教育の 10年(DESDE)」を踏まえた今後の環境教育の課題

TEENの開催日程&場所

2003年1月15日(木)～1月17日(土)：日本・静岡県静岡市

〈TEENの開催概要〉

「持続可能な開発のための教育」を念頭に、環境教育の要素と役割について討論を行いました。また、参加者たちは、環境問題に対する意識向上を目指し、子どもたちのための環境教育プログラムを共同で制作する方法を検討しました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 地域の環境保全と環境教育(日中韓の経験から)

〈ワークショップ概要〉

- DESDEを踏まえた今後の環境教育の課題
- エコツーリズムと環境教育

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

2003年12月に中国の北京で行われた第5回TEMMでは、北東アジア地域における循環型社会の構築、都市部の大気汚染、湖沼・河川の水質汚濁問題への対策強化など、経済発展・社会開発・環境保護の統合に向けた取組みが重要であることを確認しました。また、地域的問題の酸性雨、海洋汚染、黄砂についてもモニタリング等の対策プロジェクトを推進することで合意しました。気候変動問題に関しては、京都議定書の早期発効に向けて未批准国に対して働きかけを行っていくことを決めました。

第5回 TEEN

子どものための環境教育教材作成

TEENの開催日程&場所

2004年12月22日(水)～12月23日(木)：中国・天津

〈TEENの開催概要〉

「子どものための環境教育プログラム」に関する発表があり、各国は環境に関する共通のテーマを選び、教材を作成することに合意しました。

日中韓共同で「渡り鳥」、「川」、「リサイクル」の3つのテーマについて子どものための環境教育教材が作成され、2005年10月ソウルで開催された第6回目のTEMMで日本が報告を行いました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 三カ国の青少年の環境教育と実践

〈ワークショップ概要〉

- 三カ国における子どものための環境教育に関する施策と実践例

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第6回目のTEMMは、2004年12月に東京で開催されました。循環型社会の構築に関し、アジア地域で協力関係を築いていくこととし、多様な主体の参加を促しながら、三カ国によるセミナー等の開催や循環型社会等の環境と経済に関する分野で情報交換および政策対話を始めることを決定しました。また、北東アジア地域の環境管理のあり方を継続して議論するための作業部会を設置することとしました。

第6回 TEEN

子どものための環境教育教材試行結果報告と企業の環境教育に対する取組み

TEENの開催日程&場所

2005年12月20日(火)～12月22日(木)：韓国・ソウル

〈TEENの開催概要〉

各国の小学生を対象とした教材の試行結果の報告が行われました。また、ビジネスと産業界における環境教育という視点から、各国の企業関係者の取組みが発表されました。

今後の活動として、環境教育に関心を寄せる学生の巻き込みや、北東アジア地域としての取組を念頭におき、モンゴルやロシアからもオブザーバー参加を得ることについて提案がされました。

〈シンポジウムテーマ〉

- DESD（持続可能な開発のための教育の10年）に対する学校の役割
- リサイクル社会のための学校の役割

〈ワークショップ概要〉

- 三カ国が開発した「マナヅル」、「リサイクル」、「川」の各教材の授業試行結果の報告
- 産業界とビジネスにおける環境教育

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

2005年10月、韓国済州島にて第7回目のTEMMが開催されました。本会合では、今後3年間にわたる循環型社会に関する共同セミナーやワークショップの持ち回り開催、自由貿易協定における環境影響評価や電気・電子機器廃棄物に関する協力活動についての計画作成、漂流ごみ対策などの海洋や沿岸環境保全のための共同取組み等が同意されました。

第7回 TEEN

日中韓三カ国の沿岸地域における 環境教育の事例

TEENの開催日程&場所

2006年10月27日(金)～10月28日(土)：日本・石川県金沢市

〈TEENの開催概要〉

ワークショップでは若者達が参画する環境教育事例などについて議論を行いました。また、シンポジウムでは日中韓三カ国の沿岸地域における環境教育をテーマに、一般の参加者も含め日中韓の参加者による活発な意見交換が行われました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 日中韓の沿岸地域における「海」に関わる環境教育事例

〈ワークショップ概要〉

- 若年層が参加する環境教育の事例
- 環境教育を軸とした町づくり、地域づくり

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第8回目のTEMMは、2006年12月に中国の北京で開催されました。気候変動問題につき、COP12、COP/MOP2において2008年に京都議定書の第2回の見直しを実施する決定に対する評価が行われました。また、黄砂による人の健康や悪影響を軽減するため、共同研究の設立を含む具体的対策を議論するため局長級の会議を開催することで合意しました。さらに、漂流・漂着ゴミ対策について、より一層協力が必要との認識を共有しました。

第8回 TEEN

三カ国による都市の 大気汚染改善のための取組み

TEENの開催日程&場所

2007年10月25日(木)～10月26日(金)：中国・北京

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムには、日中韓三カ国の環境教育の専門家やNGOら約160人が参加しました。シンポジウム、ワークショップにおいては、都市の大気環境改善をテーマに、日中韓三カ国の取組を共有するとともに、活発な意見交換が行われました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 持続可能な都市へ向けた
大気環境改善のための環境教育

〈ワークショップ概要〉

- 都市部の大気汚染に関する環境教育
- 日中韓の環境教育のネットワーク化
- 今後3年間のTEENの活動計画

〈TEEN受託者〉

- 株式会社アウルズ

〈TEMM全体の動き〉

第9回目のTEMMは、2007年12月に日本の富山で開催されました。本会合では、地球温暖化対策に関して活発な意見交換を行ったほか、黄砂に関する共同研究の開始や、光化学オキシダントの汚染メカニズム解明等に向けた研究協力の推進について合意しました。また、生物多様性の保全に関する情報交換、電子電気機器廃棄物(e-waste)に関する協力・連携の強化や、化学物質管理に関する一層の協力について合意し、東アジアサミットのフォローアップに向けて連携を確認しました。

第9回 TEEN

高等教育における 青少年環境教育リーダー育成の取組み

TEENの開催日程&場所

2008年11月20日(木)～11月21日(金)：韓国・ソウル

〈TEENの開催概要〉

ワークショップでは、日韓の環境省担当官、日中韓の環境教育専門家が参加し「三カ国の環境教育交流の活性化に向けて」をテーマに発表・意見交換が行われました。日本は、アジア環境人材育成イニシアティブの取組みを紹介しました。シンポジウムでは、「高等教育における青少年環境教育リーダーシップ」をテーマに、三カ国の取組みを共有し、意見交換を行いました。

シンポジウムには日中韓環境教育ユースキャンプ(TEEPY)の参加者も出席したほか、約200名の一般市民も臨席しました。

また、TEEPYの中では、「食と環境」で伝統的文化における環境の知恵をテーマに議論や発表も行いました。学生からは、食べ物のマインドマップや村のエコマップの作成、キムチ作り等を通して、対話力や問題解決能力、創造力が得られる貴重な経験ができたとの感想がありました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 高等教育における青少年環境教育リーダーシップ
- 日中韓環境教育ユースキャンプ(TEEPY) 成果発表

〈ワークショップ概要〉

- 環境教育交流の活性化に向けて
- 三カ国におけるTEENの方向性

〈TEEN受託者〉

- 株式会社アウルズ

〈TEMM全体の動き〉

第10回目のTEMMは、2008年12月に韓国の済州島で開催されました。気候変動、低炭素社会の構築に関して活発な意見交換を行ったほか、光化学オキシダントの研究や、黄砂に関する共同研究、海洋ゴミ防止協力、アジアにおける循環型社会構築に向けて協力関係をより一層強めていくことで合意しました。また、TEMMの過去10年の取組みをレビューし、三カ国の北東アジア域内協力の一層の拡充について合意しました。

第10回 TEEN

産学官民連携と高等教育における リーダー育成の取組み

TEENの開催日程&場所

2009年11月16日(月)～11月17日(火)：日本・愛知県名古屋市

〈TEENの開催概要〉

産学官民の連携による高等教育における環境リーダー育成に焦点を当てたシンポジウムおよびワークショップが開催され、専門家や政府担当者が参加しました。各国の関連活動を共有するとともに、将来の協力関係について話し合いが行われました。

日中韓環境学生サミット(TESS)では、各国の学生による環境活動の発表や意見交換等を実施し、共同宣言を作成しました。そして、日中韓学生環境ネットワーク構想(3つのアクションプラン)を作成し、TEENシンポジウムで発表を行いました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 産学官民連携と高等教育機関の環境リーダー育成

〈ワークショップ概要〉

- 高等教育機関における環境リーダー育成の推進に向けた地域協力

〈TEEN受託者〉

- 社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第11回目のTEMMは、2009年12月に中国の北京で開催されました。本会合においては10年間の取組を踏まえ、今後、5年間の協力の10大優先分野が決定されました。

[2009～2014年の協力優先分野] ①環境教育、環境意識および公衆の参加、②気候変動(コベネフィット・アプローチ、低炭素社会、緑色成長等)、③生物多様性保全、④黄砂、⑤汚染管理(大気、水、海洋環境等)、⑥環境にやさしい社会/3R/循環型社会、⑦電子電気機器廃棄物(e-waste)の越境移動、⑧化学物質の適正な管理、⑨北東アジアの環境ガバナンス

〈関連プロジェクト：ASEAN+3ユース環境フォーラム2010〉

2010年3月、ブルネイ・ダルサラームで開催された同フォーラムに、日中韓三カ国の学生が招待を受け参加しました。ASEAN諸国によって2005年から開催され、今回は3回目。25歳のユース140名が参加しました。

第11回 TEEN

環境と開発、生物多様性保全に関する取組み

TEENの開催日程&場所

2011年3月15日(火)～3月16日(水)：中国・北京

〈TEENの開催概要〉

ワークショップでは、三カ国から、環境と開発、生物多様性保全などについての講演、及び、ケース・スタディー報告が行われました。さらに、日中韓三カ国における環境教育に関する活動の現状について各国から報告が行われ、将来の協力関係についても話し合いが行われました。

※ 第11回TEENでのシンポジウムは実施しませんでした。

〈ワークショップ概要〉

- 生物多様性を中心とする教育プログラム
- TEENの将来

〈TEEN受託者〉

- 中部大学

〈TEMM全体の動き〉

第12回目のTEMMは、2010年5月に日本の北海道で開催されました。本会合では、TEMMが北東アジア地域の域内環境協力の促進および持続可能な開発の実現に向けて重要な役割を果たすことを再確認しました。また、「環境協力に関する三カ国共同行動計画」を共同でとりまとめを行って10優先分野を決定し、今後5年間の優先協力分野として承認しました。

〈日中環境学生ミーティングの開催〉

同ミーティングは、2011年3月、中国の北京にて開催されました。会議では、参加者による両国の環境問題の現状や環境活動についての情報共有、有識者による基調講演、並びに、環境問題の現状を学び可視化するエコマップの作成が行われました。また、参加者は、気候変動、水質保全、資源の3つのグループに分かれ、今後、従事すべき活動計画の話し合いを行いました。

第12回 TEEN

環境リーダー育成に向けた グリーン成長型環境教育の促進

TEENの開催日程&場所

2011年10月25日(火)～10月27日(木)：韓国・慶州

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは、これまでのTEENの歴史・成果や行政官からそれぞれ環境教育施策について発表が行われました。

ワークショップでは、専門家による発表として、環境リーダー育成に向けたグリーン成長型環境教育の促進等について発表が行われました。学生セッションでは、「グリーン・キャンパスの構築とグリーンライフの実践」をテーマに三カ国の学生から各国の大学における優良事例が紹介されました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 環境教育の将来——「実践」に向けて
- これまでのTEENの歴史・成果の説明
- 各国政府の環境教育施策

〈ワークショップ概要〉

- 環境リーダー育成に向けたグリーン成長型環境教育の促進
- 日中韓学生フォーラム：
グリーン・キャンパスの構築とグリーンライフの実践
- TEENの評価と今後の方向性

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第13回目のTEMMは、2011年4月に韓国の釜山で開催されました。本会合では、各国の環境政策の進展、地球規模及び地域の課題等について意見交換が行われました。また、昨年策定された「共同行動計画」の進捗を確認し、実施を更に推進していくことが合意されました。さらに三カ国の学生・産業界の代表者からなる「TEMM学生フォーラム」および「TEMM産業フォーラム」が開催されました。

〈TEMM学生フォーラム〉

学生フォーラムはTEMM13にあわせ、韓国の釜山で行われました。三カ国の学生の代表が「低炭素グリーン・キャンパスの実現」及び「将来のグリーンリーダーの育成」の2つのテーマによる発表と意見交換を行いました。

第13回 TEEN

持続可能な開発のための 教育 (ESD) に関する最新の取組み

TEENの開催日程&場所

2012年10月23日(火)～10月26日(金)：日本・宮城県仙台市

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「持続可能な開発のための教育 (ESD) 最新動向」のテーマで三カ国による発表が行われました。『国内外におけるESDの取組み』として、日中韓の専門家による国家および地域のレベルにおけるESDの事例紹介が行われました。

ワークショップでは、日中韓の環境保全に関わる「伝統文化の中の環境の知恵」や「我ら共有の未来」をテーマとした読本の協働開発を目標に、各国の教育現場の現状紹介も含め、活発な議論が行われました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 持続可能な開発のための教育 (ESD) 最新動向
- これまでのTEENの歴史・成果の説明

〈ワークショップ概要〉

- 日中韓の子ども向け環境読本の作成に関する検討

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第14回目のTEMMは、2012年5月に中国の北京で開催されました。三カ国の国内環境政策の紹介、地球規模および地域環境課題に関する主要政策、共同行動計画の進捗評価、学生およびビジネスフォーラムの開催報告について意見交換が行われました。これらの結果は共同コミュニケとして採択されました。

〈TEMM学生フォーラム〉

2012年5月3日、第14回目のTEMMにあわせて、三カ国の学生の代表による意見交換・討議が中国の北京で行われました。学生フォーラムでは「若者の環境活動および持続可能な開発とグリーン経済を促進するための若者の役割」の2つのテーマで、各国の学生代表の発表が行われました。

第14回 TEEN

高等教育における環境教育及び持続可能な 開発のための教育 (ESD) の新たな試みと展望

TEENの開催日程&場所

2013年10月22日(火)～24日(木)：中国・北京

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「高等教育における環境教育及び持続可能な開発のための教育 (ESD) の新たな試みと展望」をテーマとして、TEENメンバーの国々へその経験、価値観や考え方に関して意見交換の場を提供することを目的として実施されました。

また「日中韓の子ども向け環境読本の作成に関する検討」をテーマに、日中韓の専門家によるワークショップが開催されました。日中韓が協働で開発を進めている小学生5・6年生を対象とした子ども向け環境教育読本について、教材開発の進捗状況の確認やその内容・作業工程に関する活発な意見交換が行われました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 高等教育における環境教育及びESDの現状と動向および新たな試み

〈ワークショップ概要〉

- 日中韓の子ども向け環境読本の作成に関する検討

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第15回目のTEMMは、2013年5月に日本の北九州市で開催されました。本会合では、三カ国の国内環境政策の進捗状況の紹介を行うとともに、大気汚染、グリーン経済、気候変動、生物多様性等について率直な意見交換を行い、共同コミュニケを採択しました。また、「TEMMユースフォーラム」および「TEMMビジネスフォーラム」の結果報告が行われこれらの結果は共同コミュニケとして採択されました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2013年5月5日、第15回目のTEMMにあわせて三カ国の若者の代表による意見交換を行うユースフォーラムが北九州市で開催されました。ユースフォーラムでは、「環境的に持続可能な都市に向けての環境問題と取組み」および「環境的に持続可能な都市を目指して」の2つのテーマで、各国の若者代表の発表・討議が行われました。

第15回 TEEN

日中韓の持続可能な環境教育の 協働に向けた今後の取組み

TEENの開催日程&場所

2014年10月22日(水)～24日(金)：韓国・済州島

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「日中韓の持続可能な環境教育の協働に向けた今後の取組み」をテーマとして、これまでのTEENの歩みや成果を振り返ると共に、日中韓の今後の取組みに関する展望が発表されました。

ワークショップでは、日中韓が協働で開発を進めている子ども向け環境教育読本8冊のうち、日韓が開発する読本各1冊について教材開発の進捗状況やその内容・作業工程の確認が行われました。また、TEENの今後の5ヵ年計画(2015～2019)について意見交換が行われました。三カ国の共同プロジェクト案として取り組む内容としては、「新たに独立したTEENウェブサイトの開発」「テーマ別のショートビデオ集作成」「三カ国の企業がCSR活動の一環として取り組む環境教育プログラムの比較研究」などが提案され、今後の実現を目指して協議を続けることになりました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 日中韓の持続可能な環境教育の協働に向けた今後の取組み

〈ワークショップ概要〉

- 日中韓の子ども向け環境教育読本の作成に関する最終確認

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第16回目のTEMMは、2014年4月に韓国・大邱市で開催されました。本会合では、三カ国の国内環境政策の進捗状況の紹介、PM2.5を含む大気汚染問題が最も重要な議題として議論し、その結果、大気環境改善を今後五年間の三カ国協力の優先分野の一つとするともに、今後の具体的な協力内容を含むコミュニケを採択しました。また、三カ国の学生、産業界の代表者からなる「TEMMユースフォーラム」及び「TEMMビジネスフォーラム」が開催され、その結果は大臣会合において三大臣に報告されました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2014年4月28日、第16回目のTEMM開催にあわせて、三カ国の若者の代表による意見交換・討議を行うユースフォーラムが韓国大邱で行われました。「持続可能性への若者の抱負 実行の率先」のテーマに、三カ国の若者代表による各国での事例紹介、午後は三カ国混成の3チームに分かれ、活発かつ率直な意見交換が行われました。

第16回 TEEN

世界と地域を結ぶ(グローバルの視点で) ～岡山市におけるポストDESD～

TEENの開催日程&場所

2015年10月25日(日)～27日(火)：岡山県岡山市、香川県直島町

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「世界と地域を結ぶ(グローバルの視点で)～岡山市におけるポストDESD」をテーマとして、日中韓における環境教育及びESD(Education for Sustainable Development; 持続可能な開発のための教育)の取組に関して意見交換が行われました。

ワークショップではESDに先進的に取組んでいる岡山市北区京山地区の「緑と水の道」を視察した他、京山公民館を訪問し、伝統芸能の伝承や外国人との交流等の京山公民館の取り組みについて学びました。また、韓国側が作成した子ども向け環境教育読本「伝統文化の中の環境の知恵：オンドル」を用いて、岡山市立曾根小の6年生に対して授業を行いました。授業ではオンドルと呼ばれる床下暖房の模型を作り、お灸を使用して床下に熱が伝わる構造について実験を行いました。

エクスカーションでは、香川県直島町を訪問し、ベネッセハウスミュージアムや地中美術館、現代の芸術家が古民家を改装し、作品化した「家プロジェクト」の見学や香川県直島町の関係者との意見交換を通して、アートによる地域おこしの実践例を環境教育及びESDの視点から学びました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 点から線、線から面への環境教育の広がりとつながりづくり

〈ワークショップ概要〉

- 日本における環境教育及び持続可能な開発のための教育(ESD)に関する先進的事例の視察
- 韓国側が作成した子ども向け環境教育読本の活用

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第17回目のTEMMは、2015年4月に中国・上海市において開催されました。本会合では日中韓の環境政策の進展、地球規模及び地域の環境課題及び環境協力に係る三カ国共同行動計画の進捗状況等について意見交換を行うとともに、今後5年間(2015年-2019年)の「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画」及び共同コミュニケが採択されました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2015年4月29日、第17回目のTEMMにあわせてユースフォーラムが中国・上海市で開催されました。ユースフォーラムでは、「自然との関係の樹立」というテーマのもと、持続可能な開発を実現するにあたり、自然とのつながりを構築するためのユースの役割について、各国からの発表、意見交換、討議が行われました。

第17回 TEEN

環境教育及びESDの公的支援の強化

TEENの開催日程&場所

2016年9月23日(金)～25日(日)：中国・深セン

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「環境教育及びESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) の公的支援の強化」をテーマとして、日中韓における環境教育及びESDの取組に関して意見交換が行われました。

ワークショップでは深セン湾公園自然学校を訪問し、ボランティアガイドの案内のもと、深セン福田マングローブ公園を見学した他、日本代表参加者より自然学校 (ビジターセンター) の運営やインタープリテーションに関する講義を深センの自然学校職員及びボランティアを対象に行いました。

また、深センOCT小学校を訪問し、韓国代表参加者より、韓国側が作成した環境教育読本「伝統的な知恵」から三カ国の伝統的な衣服をテーマに、蚕の繭の糸引きや染色を体験し、伝統的な衣服の生産方法について学びました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 日中韓三カ国における環境教育支援の促進に関する政策
- 地域における環境教育/ESDプログラムの効果

〈ワークショップ概要〉

- 中国における自然学校 (ビジターセンター) の視察
- 韓国側が作成した子ども向け環境教育読本の活用

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第18回目のTEMMは、2016年4月に静岡市において開催されました。本会合では、三カ国の国内環境政策の進捗状況の紹介及びそれらに基づく意見交換を行うとともに、昨年採択された行動計画に基づき、各分野の活動の進展及び今後も協調的な取組を継続・拡大することを確認しました。また、「持続可能な2030アジェンダ」及び「パリ合意」について、今年から対策を実施すること及びパリ協定の早期の発効の重要性に合意しました。加えて、大地震等災害時の廃棄物対策等における経験や政策の共有を図ることに合意しました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2016年4月25日、TEMMにあわせて、三カ国の若者の代表による意見交換・討議を行うユースフォーラムが静岡市で行われました。ユースフォーラムでは、「自然の恵みの活用」のテーマのもと、東海大学自然史博物館・海洋博物館の見学や日本平でのお茶摘み体験の他、各国ユース代表による各国での取組事例の紹介及び意見交換等が行われました。

第18回 TEEN

生物—文化多様性と地域に根ざした環境教育

TEENの開催日程&場所

2017年11月1日(水)～3日(金)：韓国・水原

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「生物—文化多様性と地域に根ざした環境教育」をテーマとして、日中韓における生物—文化多様性と環境教育及びESDの取組に関して意見交換が行われました。

ワークショップでは京畿道環境教育フェスティバルにTEENブースを出展した他、Youn Hyun小学校において日本側の教員による、米をテーマに三カ国の違いと類似点から生物—文化多様性について学ぶ環境教育研究授業を実施しました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 生物—文化多様性と地域に根ざした環境教育

〈ワークショップ概要〉

- 京畿道環境教育フェスティバルへの出展
- 日本側教員による韓国の小学校での環境教育研究授業

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第19回目のTEMMは、2017年8月に韓国・水原において開催されました。本会合では、三カ国の国内環境政策の進捗状況の紹介及びそれらに基づく意見交換を行うとともに、ヒアリ等を始めとした侵略的外来種、海洋ごみ、大気汚染、SDGs (持続可能な開発目標) について率直な意見交換を行い、共同コミュニケを採択しました。また、日中及び日韓の二国間の環境大臣会談が開催され、環境協力の一層の促進に向けた議論が、それぞれ行われました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2017年8月24日、TEMMにあわせて、三カ国の若者の代表による意見交換・討議を行うユースフォーラムが韓国・水原で行われました。ユースフォーラムでは、「生物—文化多様性と若者の参画」のテーマのもと、ユース代表による各国での取組事例の紹介及び意見交換、宣言文の作成等が行われました。

第19回 TEEN

多様な主体による持続可能な地域づくり ～ SDGsの達成に向けて～

TEENの開催日程&場所

2018年10月6日(土)～8日(月)：日本・福岡県北九州市

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「多様な主体による持続可能な地域づくり～SDGsの達成に向けて～」をテーマとして、日中韓における環境教育及びESDの取組に関する意見交換が行われました。

ワークショップでは、日本側が開発を進めるファシリテーション・ガイドブックを使用した研修を実施しました。また、エクスカーションでは、北九州市環境ミュージアムを訪問し、北九州市の公害克服の歴史や環境未来都市としての取組を学んだ他、ワークショップ会場でもある北九州ESDまなびとステーションを訪問し、北九州の全10大学と地域社会が連携し、実践活動を通じて将来を担う人材育成に取り組むプロジェクトについて学びました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 多様な主体による持続可能な地域づくり～SDGsの達成に向けて～

〈ワークショップ概要〉

- 北九州市環境ミュージアム、北九州まなびとESDステーションの視察
- ファシリテーション・ガイドブックを使用したワークショップの実施

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第20回目のTEMMは、2018年6月に中国・蘇州市において開催されました。本会合では、過去20年における三カ国の環境協力を振り返り、最近の進展を確認しました。また、来年日本で開催されるG20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合に向けた協力、脱炭素都市の構築のための共同研究、ヒアリ等を含む外来種対策、海洋ごみ対策、大気汚染、SDGs(持続可能な開発目標)について率直な意見交換を行い、共同コミュニケを採択しました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2018年6月22日～24日、TEMMにあわせて、三カ国の若者の代表による意見交換・討議を行うユースフォーラムが中国・蘇州市で行われました。ユースフォーラムでは、「地球の未来のために今できること - より環境にやさしい社会の実現に向けたすべての人の取組とユースの役割」のテーマのもと、ユース代表による各国での取組事例の紹介及び意見交換、宣言文の作成等が行われました。

第20回 TEEN

TEEN 20年のあゆみ：成果と振り返り

TEENの開催日程&場所

2019年10月27日(日)～29日(火)：中国・杭州市

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは、第20回の開催を記念して「TEEN20年のあゆみ：成果と振り返り」をテーマとして、日中韓における環境教育及びESDの取組に関する振り返りと今後の活動について意見交換が行われました。

ワークショップでは、杭州市植物園内にある環境教育活動団体の拠点を訪問し、日本及び韓国の環境教育専門家による事例報告と日中韓の環境教育関係者とのディスカッションを行いました。

また、実験小学校を訪問し、児童による「ごみ分別」をテーマにした寸劇、屋上ガーデン、課外活動等を視察しました。

また、エクスカーションとして西溪国家湿地公园を訪問しました。

〈シンポジウムテーマ〉

- TEEN 20年のあゆみ：成果と振り返り

〈ワークショップ概要〉

- 日本及び韓国の環境教育専門家による事例報告と日中韓環境教育関係者とのディスカッション
- 実験小学校の視察

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第21回目のTEMMは、2019年11月に日本・北九州市において開催されました。本会合では、三カ国の国内環境政策の進展、環境協力に係る三カ国共同行動計画の進捗状況等について意見交換を行いました。また、三カ国共同行動計画(2015～2019)の進展についてレビューを行った後、2020年から2024年を対象期間とした次期日中韓三カ国共同行動計画を形成するにあたっての優先分野(大気環境改善、3R、循環経済等)について議論しました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2019年11月22日～24日、TEMMにあわせて、三カ国の若者の代表による意見交換・討議を行うユースフォーラムが日本・北九州市で行われました。ユースフォーラムでは、「想像し、創造し、そして行動せよ！～我々の世界をすべての人にとってサステナブルなものに変革する～」のテーマのもと、ユース代表による各国での取組事例の紹介及び意見交換、報告文の作成等が行われました。

第21回 TEEN

地域における環境教育： 日本、中国、韓国の経験の共有

TEENの開催日程&場所

2020年10月15日(木)～16日(金)：韓国(オンライン)

〈TEENの開催概要〉

ワークショップでは、「ポストコロナ時代の環境教育：コミュニティマッピング」をテーマに、韓国側からモバイルアプリケーションを利用した動植物等のマッピングを通じた環境教育の事例が紹介されました。

また、各国の地域における自治体と連携した環境教育の事例について報告がなされました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 地域における環境教育：日本、中国、韓国の経験の共有

〈ワークショップ概要〉

- 韓国側からモバイルアプリケーションを活用した動植物等のマッピングを通じた環境教育の事例報告やアプリの操作方法について紹介。
- 「自治体と連携した環境教育」をテーマに、地域の環境教育の事例共有。

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM及びTEMMユースフォーラム〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催延期された。

第22回 TEEN

2050年に向けた私たちの選択 ～脱炭素社会の実現のために～

TEENの開催日程&場所

2021年11月25日(木)～26日(金)：日本(オンライン)

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは「2050年に向けた私たちの選択～脱炭素社会の実現のために～」をテーマに日中韓における環境教育及びESDの取組に関して研究発表と実践発表が行われました。また発表者によるパネルディスカッションを行い、2050年に向けた地球規模の気候変動課題解決と環境教育の役割について意見交換が行われました。

ワークショップではTEEN共同プロジェクトの一環として開発されたファシリテーション・ガイドブックを用いて「気候変動と食」をテーマに模擬授業が行われました。

気候変動がそのまま進むと食にどのような影響があるのかを考え、またこれから自分たちにできるアクションについて各国のグループに分かれてディスカッションを行いました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 2050年に向けた私たちの選択
～脱炭素社会の実現のために

〈ワークショップ概要〉

- ファシリテーション・ガイドブックを使用した模擬授業の実施

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第22回のTEMMは2021年12月に韓国の主催よりオンライン形式で行われました。本会合では、各国の環境政策の進展、地球規模及び地域の環境課題及び環境協力に係る三カ国共同行動計画の進捗状況等について意見交換したとともに、「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画」及び共同コミュニケを採択しました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2021年12月11日、第22回のTEMMの開催に合わせて韓国の主催でオンライン形式により、「気候変動対策にユースの声を」のテーマのもと、TEMMユースフォーラムが行われました。三カ国のユースの代表による取組事例の紹介のほか、グループに分かれてワークショップを通じたディスカッションを行い「Our Visions of 2050」の作成等が行われました。

第23回 TEEN

自然に根ざした環境教育のイノベーション ～繋がり、融合し、そして創造する～

TEENの開催日程&場所

2022年11月17日(木)～18日(金)：中国(オンライン)

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは、「自然に根ざした環境教育のイノベーション～繋がり、融合し、そして創造する～」をテーマに日中韓における活動事例の共有や抱えている課題等の発表がありました。また発表者、コメンテーターによるパネルディスカッションを行い、今後の展望について意見交換が行われました。

ワークショップでは各国から環境教育実践者が5名参加し、グループに分かれ、活動事例の発表や今後の連携に向けた意見交換が行われました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 自然に根ざした環境教育のイノベーション～繋がり、融合し、そして創造する～

〈ワークショップ概要〉

- 自然に根ざした環境教育の事例共有及び意見交換

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第23回のTEMMは2022年12月に中国の主催によりオンライン形式で行われました。

本会合では、各国の環境政策等に関する意見交換、共同行動計画(2021-2025年)の進捗確認が行われ、会合の成果として共同コミュニケを採択しました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2023年3月29日中国の主催でオンライン形式により「生物多様性にかかわるユースたち:行動のための原動力」のテーマのもと、TEMMユースフォーラムが行われました。

三カ国のユースの代表による取組事例の紹介とディスカッション等を行いました。

第24回 TEEN

気候変動の緩和と適応を目指した環境教育 ～「参画」に焦点を当てて～

TEENの開催日程&場所

2023年11月27日(月)～30日(木)：韓国(済州島)

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは、「気候変動の緩和と適応を目指した環境教育」をテーマに日中韓における活動事例の共有や抱えている課題等の発表がありました。また発表者、コメンテーターによるパネルディスカッションを行い、今後の展望について意見交換が行われました。

ワークショップでは気候変動教育及び環境教育の研究校に指定されているヒョンドン中学校を訪問し、日本及び中国の代表者からそれぞれ気候変動をテーマとした授業を実施した他、トンベクドンサン湿地センターを視察しました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 気候変動の緩和と適応を目指した環境教育～「参画」に焦点を当てて～

〈ワークショップ概要〉

- 気候変動の緩和と適応を目指した環境教育の事例共有及び意見交換

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第24回のTEMMは2023年11月3日～4日まで日本の主催により愛知県名古屋市において開催されました。

本会合では、各国の環境政策等に関する意見交換、共同行動計画(2021-2025年)の進捗確認が行われ、会合の成果として共同コミュニケを採択しました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2023年11月2日～4日まで、日本の主催で愛知県名古屋市において、「人と自然との共生に向けて～未来の教育に変革を起こす～」のテーマのもと、TEMMユースフォーラムが行われました。ユースの代表による各国での取組事例の紹介及び意見交換、宣言文の作成等が行われました。

第25回 TEEN

過去から現在、未来をつなぐ ～脱炭素社会実現へのロードマップ～

TEENの開催日程&場所

2024年10月26日(土)～29日(火)：京都府

〈TEENの開催概要〉

シンポジウムでは、「過去から現在、未来をつなぐ～脱炭素社会実現へのロードマップ～」をテーマに基調講演のほか、日中韓における政策報告および活動実践事例の発表が行われました。またパネルディスカッションでは、脱炭素社会を目指していく上で環境教育に必要とされることについて意見交換が行われました。

ワークショップでは、桂離宮で自然との共生の仕組みを視察しました。また、けいはんな学研都市を訪問し、企業における環境の取組みについて施設見学や体験を通して学ぶとともに、企業に求められる環境教育について意見交換を行いました。

〈シンポジウムテーマ〉

- 過去から現在、未来をつなぐ
～脱炭素社会実現へのロードマップ～

〈ワークショップ概要〉

- 企業における環境への取組の視察及び意見交換

〈TEEN受託者〉

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈TEMM全体の動き〉

第25回のTEMMは2024年9月28日～29日まで韓国の主催により韓国・済州島において開催されました。

本会合では、気候変動、生物多様性、プラスチック汚染対策など今後の環境協力について意見交換が行われ、会合の成果として共同コミュニケが採択されました。

〈TEMMユースフォーラム〉

2024年9月27日～30日まで、韓国の主催で韓国・済州島において、「プラスチック資源循環経済の実現～変革に向けた若者のアクション～」のテーマのもと、TEMMユースフォーラムが行われました。ユースの代表による各国での取組事例の紹介及び意見交換、宣言文の作成等が行われました。

令和6年度

日中韓環境教育ネットワーク TEEN

これまでのあゆみ

発行日：令和7年3月

発行者：環境省 大臣官房 総合政策課 環境教育推進室

企画・制作：公益社団法人 日本環境教育フォーラム

デザイン・印刷：キンコース・ジャパン株式会社

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、
印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [Aランク] のみを用いて作成しています。



TEENの詳細はウェブサイトをご確認ください。
<https://www.env.go.jp/earth/coop/temm/project/teen.html>